

保土ヶ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会

発行 第24期 保土ヶ谷区民会議

事務局 〒240-0001

横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9

保土ヶ谷区 区政推進課広報相談係内

TEL 334-6221 FAX 333-7945

令和3年7月15日発行

第24期保土ヶ谷区民会議が新体制で発足

令和3年4月24日(土)開催の第24期保土ヶ谷区民会議書面総会において、代表委員小林由美子委員、副代表委員平本勉委員、川上吉夫委員、長山昌利委員それぞれの再任と富田修一委員の新任、運営委員23名が承認され、委員総勢115名で第24期が発足しました。

【テーマ】未来につなごう！人にやさしいまちづくり～すきです 保土ヶ谷 マイタウン～

【活動方針】

第24期保土ヶ谷区民会議は、区民自身の手による区民のためのまちづくりの場として、区民の声を反映し、「いつまでも住みつづけたいまちほどがや」をめざし活動します。

- 1 区民会議の基本理念「広聴・提言・行動・発信」のもと、情報の収集・交換・共有を図り民主的な話し合いを通して行動・発信につなげ、活動を進めます。
- 2 区民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、区民、行政、地区連合町内会（自治会・町内会）や各種団体と連携を深め「顔と顔の見える関係」を大切に、地域のさまざまな課題の解決をめざし活動を進めます。
- 3 「地域のつどい」・「区民のつどい」を開催し、身近な視点での区民の生の声を収集し、重要課題については行政に提言・要望して区政に反映していただき、地域に還元します。
- 4 前期に引き続き分科会・委員会で専門分野別に活動し、その成果は区民や関連団体に発信するとともに、キャンペーンの実施や冊子の発行、啓発活動などを行い、行政に係わる問題については提言をまいります。
- 5 「ニュースやまびこ」の発行やホームページへの掲載、更に「広報よこはま ほどがや区版」や地元メディアも活用して、区民会議の活動を更に理解していただくための広報活動の充実を図ります。
- 6 協働契約に基づく区との協働事業をさらに推進していきます。

代表委員挨拶



日頃より区民の皆さまには、保土ヶ谷区民会議の活動に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

この度、保土ヶ谷区民会議は、総勢115名の委員の下、上記のテーマ・活動方針を掲げ第24期がスタートいたしました。

今期も、環境・教育・交通・災害・福祉の分科会活動、「地域のつどい」・「区民のつどい」の開催、行政への提言・要望の提出と回答の地域への還元、等の活動を通じ、テーマである「人にやさしいまち」実現へ向けて活動を推進してまいります。

昨年より続くコロナ禍での活動のあり方も検討し、新しい様式の取り組みなども実践して行きたいと考えます。

区民会議だからできること、区民会議でしかできないこと、これからも区民の皆さまにとって必要とされる存在＝区民会議であり続けたいと思います。

今後とも、皆さまのご支援・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

保土ヶ谷区民会議代表委員 小林 由美子

区長挨拶



第24期保土ヶ谷区民会議

の発足おめでとうござます。

日頃から地域の様々な課題解決に取り組んでいただくとともに、区民の皆さまと行政とをつなぐ大きな役割を果たし

ていただいております、心より感謝申し上げます。

区役所や関係団体、地域の皆さまとともに進めている「保土ヶ谷ほっとなまちづくり（保土ヶ谷区地域福祉保健計画）」では、「つながり・支えあい」を大切にしており、区民会議の活動と共通する部分も多いと考えています。

引き続き協働の取組や区民の皆さまに向けた発信など、区役所と協働契約を結ぶまちづくりのパートナーとして、共に活動してまいります。

区役所としても、「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向け、職員一丸となって努力してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

保土ヶ谷区長 出口 洋一

今期の主な活動の紹介

◎テーマ及び活動計画

環境分科会

第24期環境分科会は、23名のメンバー（うち新メンバー9名）で活動を開始し、前期同様「未来へつなごう水・緑・資源」をテーマとし「自然環境」「ごみ問題」「エコ問題」のサブテーマに分けて取り組みます。ホテルの観察会や身近な生物を通じ、身近な自然の大切さを発信、コロナ禍で増加傾向の家庭ごみの削減・資源ごみリサイクルの推進を学習、区内イベント会場等の廃食油の回収を実施し、保土ヶ谷区内の環境改善に資することとしています。以上の活動のため、関係する施設の見学会、行政担当者等の講習を実施していきます。



教育分科会

活動テーマは「子どもは未来のためから 地域ぐるみで子育てを！」。活動内容は「あいさつ運動の推進」「教育現場の実情を知る」「地域の子育ての実情を知る」の3つの柱としました。新型コロナウイルス感染症拡大により、私たちの生活様式が大きく変化しています。こうした社会状況の変化にも柔軟に対応する必要があります。未来の担い手である子どもが健やかに育つために、行政や関係機関とも緊密に連携して「つながり・支え合い」を大切にしながら、身近な地域での子育て支援や教育・文化、そして健康づくりなどの取り組みをより充実させたいと思います。



交通分科会

前期と同じく「テーマ：安全な道路交通をめざして」「サブテーマ：自転車・歩行者の交通安全、自転車のルール・マナーの啓発」とし、会議の日数及び時間を鑑み第23期から継続の4課題の中より、下記2項目を抜粋して審議を実施して行きます。

1. 「区民のつどい」用に作成した動画を、いかに区民へ周知して行くか検討します。
2. 自転車のルール・マナーの向上に向けて、行政との連携のあり方を深め、チラシやルールブックを活用し幼稚園・サイクルショップ等へ配布が出来るかを試みます。



災害分科会

前期の後半はコロナ禍のために、計画していた活動が思うように出来なかったことから、今期もテーマを「災害に強いまちづくり」、サブテーマを「防災・減災の原点は自助・共助の実践から」として引き続き地域の防災の役に立てる活動を行っていきます。

中でも、区役所との協働事業として活動を展開してきましたHUG（避難所運営ゲーム）とDIG（災害想像力ゲーム）の出前講習会については、新型コロナの感染拡大防止のために中止を余儀なくされましたが、状況を見ながら継続して計画をしていきたいと思ひます。



福祉分科会

第24期は新任8名、再任26名での34名の構成員となります。例年通りの幅広い分野からの参加で多くの意見を取り入れながら、福祉という大きな問題と向き合おうと思ひます。活動テーマは、「学び考え 発信する 福祉分科会」と前期より継続します。このコロナ禍でより注視すべき問題点（高齢者、子ども、障がい者、外国籍者等）や、介護保険証が無く必要だが補助が受けられない方々の問題等、行政との不具合問題も感じることがあります。少しずつでも前進、進化して行ければと考えています。7月の分科会では横浜市のSDGs未来都市推進課に依頼し、SDGs福祉関連の勉強会を開催予定しています。全員の輪と協力で、2年間笑顔で、有意義な活動を進めてまいります。



<広報委員会>

(順不同)

(委員長) 富田 修一 (副委員長) 鈴木 克利

(委員) 尾崎 宗造 松土 美智子 池田 親政 金川 博史 新庄 茂 中島 康雅 保田 順子 山田 明子